

■ 水源涵養の勉強会 10.4

西条市環境政策課主催の水源涵養を学ぶ講座が桜樹公民館で開催されました。

室内で西条市の森林の現状について解説の後、土壌動物の観察と土質の違いによる保水力の比較実験を行い、近くのヒノキ林を観察しました。

この講座は、会場を変えながら今年3回開催しています。自然観察会や講座では、毎回同じ方が参加されることが多く、それはそれで大切なのですが、より多くの方に学んでいただく方法を常に考えています。(山)



ヒノキ林では、元々少ない落葉が粉々になり、堆積せず、風や雨で林内から出るため、腐食層が出来にくい特徴があります。そのためヒノキ林は管理が行き届かないと、土壌流出を引き起こしやすくなります。

■ セアカゴケグモ研修会 10.9

新居浜市で県内行政担当者の方を対象に、セアカゴケグモの研修会を開催しました。

今年、愛媛県では多くの場所でセアカゴケグモが確認されており、研修では実際に生息する状況を観察いただき、駆除を体験していただきました。

定着の段階を迎えた中で、正しく恐れながら冷静な対応が必要になっています。(山)

■ 南予森林アカデミー 10.22-23

鬼北町の南予森林管理推進センターを会場に、林業者養成の講座(半年と1年コース)が開催され、森林生態学の座学と実習を担当させていただきました。

植えて、育て、伐採するという林業の中で、森林生態学の知識は大切なのですが、現在は伐採時期を迎えていることもあり、伐採、搬出を中心に学ぶことが多くなっている印象です。

木が根を張る土はどのようにして出来るのか、養分はどのように出来るのか、なぜ、間伐を行うのか、巨大な植物を育て収穫するという視点でお話しさせていただきました。東予でもこうした講座があるとよいのですが。(山)



■ 10月の活動 

- 10.4 水源の森教室(桜樹公民館)  
ニホンジカ講座(翠波高原)
- 10.7 新居浜生涯学習大学(えんとつ山)
- 10.9-10 瓶が森フラワーウォッチング  
重信川周辺生物調査
- 10.18 照葉樹観察会(宮内神社)
- 10.20-24 草木染教室
- 10.22-23 森林アカデミー(鬼北町)
- 10.26 滝の宮公園自然観察会
- 10.27 ナガエツルノゲイトウ研修(西条)
- 10.30 黒川谷清掃
- 10.31 ニホンジカ講座(鬼北町)



日々の様子はこちらから  
saijo.nature



HPはこちらから  
自然観察会・体験教室情報など

## ■ 日切地蔵のクスノキ 10.18



西条市主催の「照葉樹観察会」を宮内神社で行いました。ここは、ツバキが大変多く、社叢が市の指定文化財になっています。

参加者と照葉樹を堪能した後、近くのお店で昼食を取り歩いていると路地の奥に大きな木が見える！入っていくと空を覆わんばかりのクスノキがありました。横のお堂には日切地蔵とあり、地域の信仰を見守ってきたであろう大樹がこれからも元気でいてくれたらいいなと思いました。

普段は車で通りすぎて気づいていない路地の先には、素敵なものが待っているかも。皆さんも知らない町でお散歩をしてみませんか？（法）

## ■ 夜の学校のご案内



会場：西条市図書館 2階会議室  
時間：19時～20時

リクエスト募集中

第250回 11月5日（水）  
「オチクサリゴケ」岩田和鷹（西条自然学校）

第251回 12月17日（水）  
「愛媛の大型哺乳類」山本貴仁（西条自然学校）

開催後、動画の配信も行っています

## ■ 黒川谷清掃 10.30

石鎚山成就社のすぐ下の黒川谷でごみ拾いをしました。ここは、ロープウェイができるまで登山道として使用されていましたが、近年では崩落箇所があるために通行不可とされています。

この活動は平成30年から年1回行っていますが、背負って運べるだけしか持ち出せないのがガラスや陶器、プラスチックなど土に還ることの無いものを中心に拾います。鉄はさびてぼろぼろと崩れ、やがて跡形も無くなるので、一カ所にまとめています。

年によっては50名程の参加者でごみを拾ったこともあり、ぱっと見た感じではゴミが無さそうに見えるのですが、谷の崩落箇所から埋まっていたと思われるゴミが現れているのです。

昭和40～50年代のものと思われるジュースや栄養ドリンクの空き瓶、海苔の佃煮の瓶、弁当の緑のバラン。「終わる気がしない」と思いながら拾っていたら、参加者が「最近のものがあつた」と言うのです。聞くと、夏によく見るパウチ容器。去年のごみ拾いの時にはなかったはず。今年の夏に誰かが捨てたのでしょうか。

地面にごみがあると「なんだ、捨てていいのか」と思う人がいるのかもしれない。そう考えるとこの活動は地道に続けていかねばと感じます。

カツラやトチの巨木がひっそりとたたずむ静かな谷。足元に残る「人間の痕跡」はあまりにも不自然です。来年も計画しますのでご協力くださる方はご連絡ください。（法）

